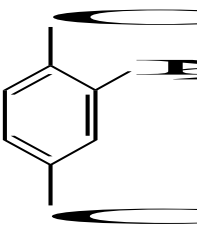


2-アミノ-4-クロロフェノールの基本情報

構造式		
別名	4-クロロ-2-アミノフェノール、2-ヒドロキシ-5-クロロアニリン	
CAS No.	95-85-2	
物理学的性質	分子量	143.58
	比重	データなし
	融点	140~141℃
	沸点	データなし
	蒸気圧 (25℃)	0.00141mmHg
	溶解性 (水・20℃)	0.3g/100mL
	分配係数 (logPow)	1.24
	引火点	170℃
	常温での性状	無色～茶色の結晶性粉末である。特徴的な臭気がある。
輸入量	500 t (平成22年、推計)	
用途	医薬品、写真薬、染料の中間物として使用されている。	
労働安全衛生法による規制の現状	「変異原性が認められた化学物質」	
がん原性評価	IARC：評価なし 日本産業衛生学会：評価なし ACGIH：評価なし	
国が実施したがん原性試験等の結果概要 (経口(混餌))	<p>ラットでは、雄に前胃の扁平上皮癌と扁平上皮乳頭腫及び膀胱の移行上皮癌の発生増加が認められ、雄に対するがん原性を示す明らかな証拠である。雌には前胃の扁平上皮乳頭腫の発生増加が認められ、雌に対するがん原性を示す証拠である。</p> <p>マウスでは、雄に前胃の扁平上皮乳頭腫の発生増加が認められ、雄に対するがん原性を示す証拠である。雌では腫瘍の明らかな発生増加は認められなかった。</p>	
変異原性の有無、強さ	微生物を用いる変異原性試験 陽性 最大比活性値=1.29×10 ² revertants/mg [TA100、S9(+)] ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験 陽性 SD ₂₀ =0.00092mg/ml [CHL、S9(-)]	
その他の主要な有害性		
ばく露限界	-	
資料出所	2-アミノ-4-クロロフェノールのモデルMSDS、厚生労働省「職場のあんぜんサイト」 「16112の化学商品」化学工業日報社(2012) 「労働安全衛生法有害性調査制度に基づく既存化学物質変異原性試験データ集補遺4版」(社)日本化学物質安全・情報センター(2008)	